



SK松本ジュニア合唱団エンブレム

ごあいさつ



SK松本ジュニア合唱団
団長 芦田勝弘

本日は年末を迎え何かとお忙しい中「SK松本ジュニア合唱団2015クリスマスコンサート」にご来場頂きまして誠にありがとうございます。

当合唱団は1993年のSKF(サイトウキネンフェスティバル松本)が上演したオペラ「火刑台上のジャンヌ・ダルク」に出演した児童合唱団を母体に結成され、SKの文字を誇りに、地域に愛される合唱団を目指し活動を続け、22年の歴史を重ねるまでになりました。

今年も卒団生とは最後になる演奏会「スプリングコンサート」や県下の少年少女合唱団が一堂に集まる「長野県少年少女合唱祭」また、「お城deハーモニー」、「さよならカタクラモール」での演奏、和楽器のオーケストラ「むつのを」への出演、作家で「千の風になって」の訳詞・作曲で脚光を浴びた新井 満さんの講演への賛助出演、更には福祉施設への訪問コンサートと地域の方々に支えられながら充実した活動ができました事に感謝申し上げます。

今年のクリスマスコンサートの第一ステージはすっかりクリスマスコンサートの定番となったミサ曲です。特に今回は当合唱団が自信を持って送る天使の歌声と共に、卒団後社会で様々な活躍をしているOB達のソロも注目です。

第二ステージは誰もが知っている「NHKみんなのうた」の中から特になじみのある歌を選んで演奏します。

第三ステージは誰もが一度は聞いたことがあるグリム童話「ブレーメンの音楽隊」の合唱ミュージカルです。動物たちが協力しながら自分の運命を切り開いて行く物語ですが、このような合唱ミュージカルに取り組めることも当合唱団の特徴の一つです。更に、演奏と共に保護者が一所懸命作った動物の衣装や小道具なども見てください。それでは本日のコンサートを十分お楽しみください。

尚、SKFは今年からOMF(セイジ・オザワ 松本フェスティバル)として再出発しますが、当合唱団はSKO(サイトウキネンオーケストラ)同様、SK松本ジュニア合唱団と、従来からの呼称を継承してまいります。これからも変わらないご支援をお願い致します。



キッセイ文化ホール
館長 出川久雄

本日は、「SK松本ジュニア合唱団クリスマスコンサート」が盛大に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

「SK松本ジュニア合唱団」は、私どもキッセイ文化ホール(長野県松本文化会館)が開館した翌年、1993年の「サイトウ・キネン・フェスティバル」で上演した、オペラ「火刑台上のジャンヌ・ダルク」に出演した児童合唱団が母体となり、結成された合唱団です。以来当館との関係は22年を数えており、キッセイ文化ホールの良きパートナーとして、これから先も益々活躍して欲しいと強く願っております。

昨年のクリスマスコンサートは、「ミサ・パストリータ」から始まり、中間に「唱歌でつづる日本の四季」、休憩を挟んで、こどものための合唱ミュージカル「100万回生きたねこ」が楽しく上演されお客様からも沢山の拍手を頂き、団員たちもこの上ない幸せな、心豊かな演奏会になった事と思います。さて、今年はどうのようなコンサートになるのか、今から楽しみにしております。

観客の皆様におかれましては、どうか子供たちをあたたく見守り、惜しみない応援をお願い申し上げます。